

2021年度

幼保連携型認定こども園 YMCA保育園・おひさま分園 学校評価
記録

日時：2022年3月16日～25日

場所：幼保連携型認定こども園 YMCA保育園 応接室

出席予定者：保護者：3名 主幹保育教諭 3名

1. 学校評価

1) 園の願い（理念・使命）説明 (主幹保育教諭)

2) 意見交換

園の生活や行事、カリキュラム等について様々な意見を交換しました。

- ・全員の先生が我が子のことを見て下さっていることが良く分かる。全員の先生が様子を話してくれる。とてもアットホームで温かい。
- ・入園当初、本児がよく泣いていた時、「泣いていいんですよ」と保育士に言われ、ほっとした。安心感に繋がり、何の不安もなくなった。
- ・先生が一人ひとりをよく見てくださっている。一緒に遊んでくれる。
- ・園の方針である、一人ひとりを大切にという意味がわかる。子どもの遊びや生活を大事に考えてくれている。
- ・何も無いところでも遊べる。ブロックでいろんなものを作れるようになってびっくりする。椅子に座ってパズルができることに驚きました。
- ・先生方が必ず傍で子どもの遊びをみている。
- ・YMCAが大切にしている4つの心（優しい心・頑張る心・大切に思う心・正直な心）をしっかりとっている。
- ・共働きで小さい頃の成長など見る事が出来なかったが、先生が丁寧に伝えてくれた。
- ・保育園があるから、働けているので感謝しかない。
- ・怪我の対応など、丁寧過ぎると思う。子どもなので怪我をするのは当たり前。
- ・少し心配だったことは、薄着のこと。本児は寒がりなので、さむくないのか？とは思ったことはあった。
- ・機械のところに『本日ブログUPしました！』とお知らせがあると、皆さんが見るかもしれません。
- ・幼児になって、楽器（ピアノ）をしないことはいいけれど、ドレミとかは知ってほしい。
- ・英語を教えてもらいたい。

2021年度

幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園 学校評価
記録

日時：2022年3月17日（木）、18日（金）

場所：幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園 応接室

出席予定者：保護者：3名 主幹保育教諭

1. 学校評価

1) 園の願い（理念・使命）説明 (主幹保育教諭)

2) 意見交換

- ・異年齢保育の中で、年上の子を敬う気持ち、年下の子をお世話する気持ちが育った。見て学ぶことをしていた。3歳児の最初は、不安で、先生の目が届くのかなと思ったが、特にそうではなかった。
- ・園外保育、盲導犬、国際デイなど、他の園では、体験できない体験を喜んでいました。
- ・クッキング、園に置かれているレシピ良かった。子どもが、「保育園のご飯がおいしい」と言っていたので、家でもしている。
- ・先生たちの雰囲気がとても良い。また、学年を超えて他の保護者とも挨拶を交わしたり、話すこともでき、雰囲気がいい。
- ・園でのプール、幼児体育を見たい。どのようなことをしているのかを見たい。
- ・クリスマスのDVD販売をしてほしい。聖劇、ビデオ撮影できない分、販売してほしい。
- ・初めて園見学をした時の先生の対応や手作りの食事、おやつがいいと思い、ここに入園を決めた。
- ・先生たちと送迎の際、園外で出会っても携帯を見ながら歩いていることがなく、すごいと思う。
- ・先生方が、とても優しく、でも叱るときは感情的に怒るのではなく、しっかり子どもに伝えてくれてありがたかった。お友達、先生とのかかわりで心配したことがなかった。
- ・今しかできない、散歩にでかけ、お花を摘んだり、どんぐりを集めたり、自然に触れることが本当に良いことだと思う。キャンプ、雪遊びも良かった。
 - ・家では、大人の中で育っているため、異年齢の関わりやいろいろな人と関われることは、良かった。
 - ・保護者同士で子育ての悩みについて話す機会などがあれば、ありがたいと思う。他の保護者の方と顔を合わす機会がなかったので、そのような機会があれば参加したいと思う。

幼保連携型認定こども園 神戸学園都市YMCAこども園

2021年度 学校（こども園）評価 記録

日 時：2022年3月23日（木）16：00～16：30

場 所：幼保連携型認定こども園 神戸学園都市YMCAこども園 2階

出席者：保護者1名 園長 主幹保育教諭1名

1. ごあいさつ・出席者紹介
2. 学校評価

- ・主旨説明
- ・園の願い（理念や使命）説明
- ・2021年度公開保育記録説明
- ・意見交換 <改善点 園の長所 その他・・・>

保護者の方より

- ・入園した時から不満などは全くなく、日々本当に感謝している。
- ・異年齢保育は良いと思う。3年間の関わりの中で子ども自身が成長していく姿がみれる。
5歳児になると同学年のつながりが増えてよかった。3, 4歳でもそのような機会があってもいいなと思う。
- ・あそびが中心のYMCAを選んで入園したので保育の中で勉強事がないのは問題ないと思うが、小学校入学の時に他の友だちと差がでるのではないかと不安になることもある。
- ・ブログで日常の様子を知ることができるのは良い。回数やアップする間隔も丁度いいと思う。
- ・駐車場側の門を通る時に危険を感じる事がある。
- ・毎月の諸費が引き落としになり良かった。
- ・コロナ禍でも、いろいろと取り組み（行事なども含め）を考えてくださり、良かった。
- ・幼児体育では子どもが楽しめるプログラム中心だが、設備も整っているので、もう少し体育として本格的な内容にしてもいいのではないか。
- ・こども園の生活リズム（朝は散歩、夕方はコーナー保育）は、安定していて子どもも充実して過ごせている。
- ・コーナーあそびなどでできた作品を保護者も見れる機会があれば嬉しい。友だちの作品なども見たい。
- ・クッキングなど次の日のお昼ごはんや、おやつに食材がでてくるので、すごくいいと思う。
- ・幼児クラスになった時に、先生とのコミュニケーションが減ったことは仕方ないことだが、少し寂しさや不安も感じた。
- ・メール配信は情報を早く知れるので助かっている。緊急連絡は午前中がありがたい。

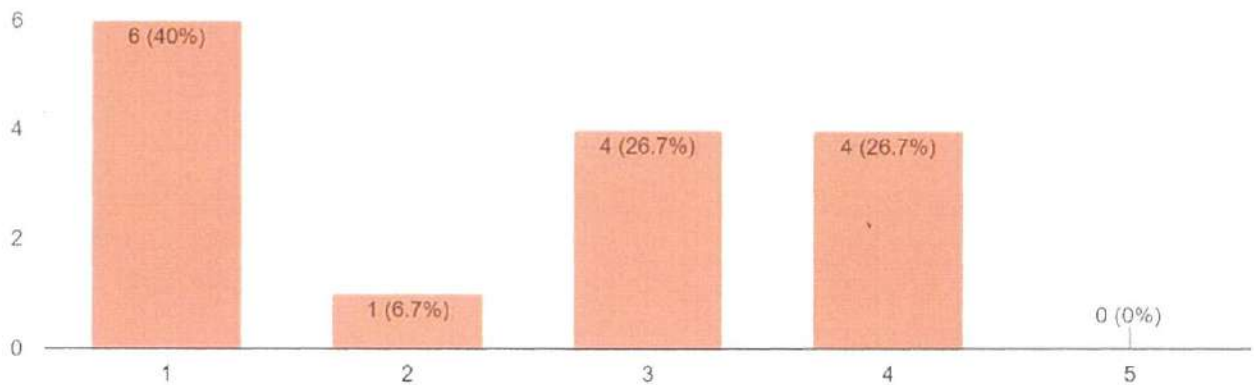
2021年度 幼保連携型認定こども園西宮YMCA保育園
 学校（こども園）評価

1. 保護者アンケート

- コロナ禍のため、オンライン形式で保護者アンケートを実施
- 園だよりおよびメールを通じて、入力のご案内を行った
- 全園児保護者中 15/71 名の回答があった。

園の保育内容について

15件の回答

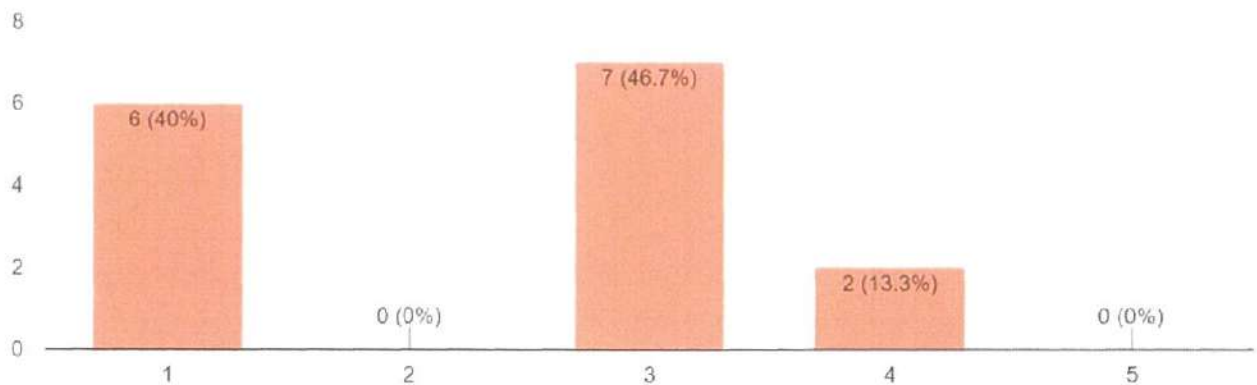


主な意見

- ◇ コロナ禍でも様々な活動を通じて主体性のはぐくみに注力している（4件）
- ◇ コロナ禍で行事も減り、質が落ちている（5件）

園の環境について

15件の回答

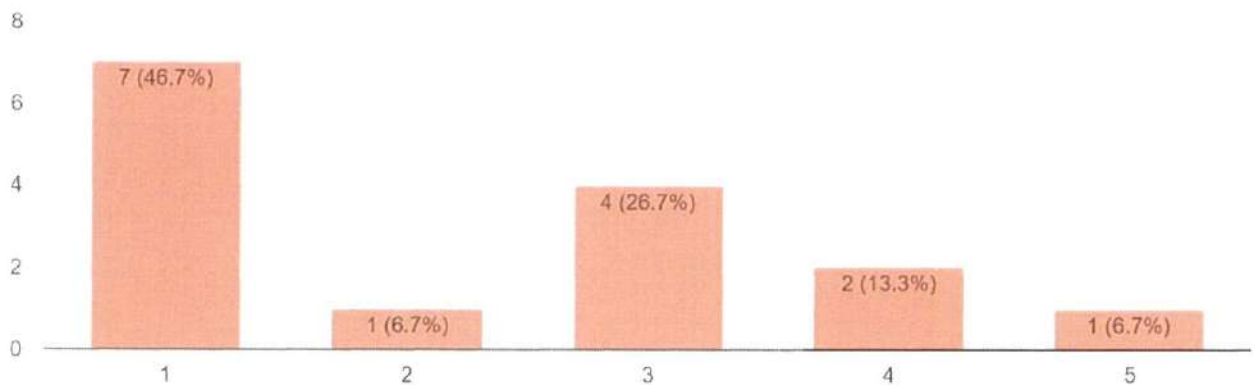


主な意見

- ◇ 保護者の意見や食事に非常に力を入れている（2件）
- ◇ 園庭の活用や季節の伝統行事をもっとしてほしい
- ◇ 園外の自然活用などに力を入れている（2件）

園の職員について

15件の回答

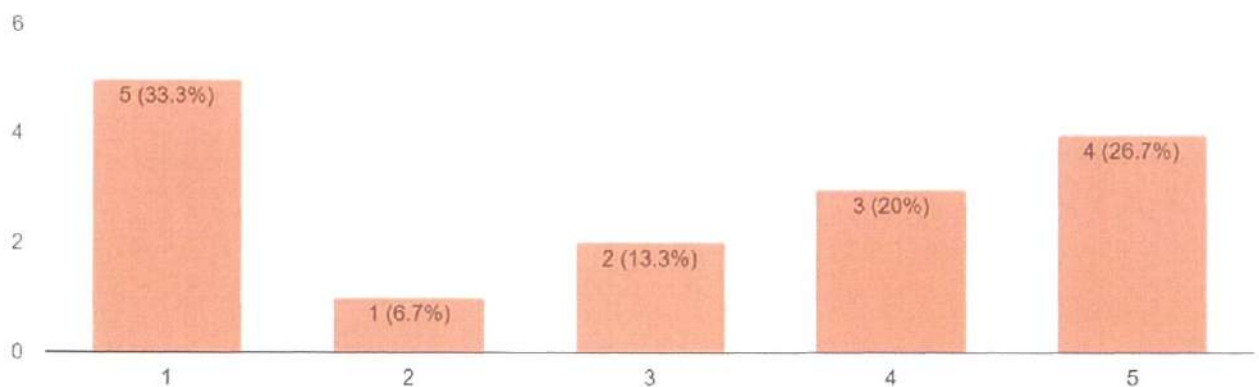


主な意見

- ◇ 一人ひとり名前を呼びあって、しっかり対応している（3件）
- ◇ もっと保育の様子や子どもの様子を聞かせてほしかった（3件）

園と保護者のつながりについて

15件の回答

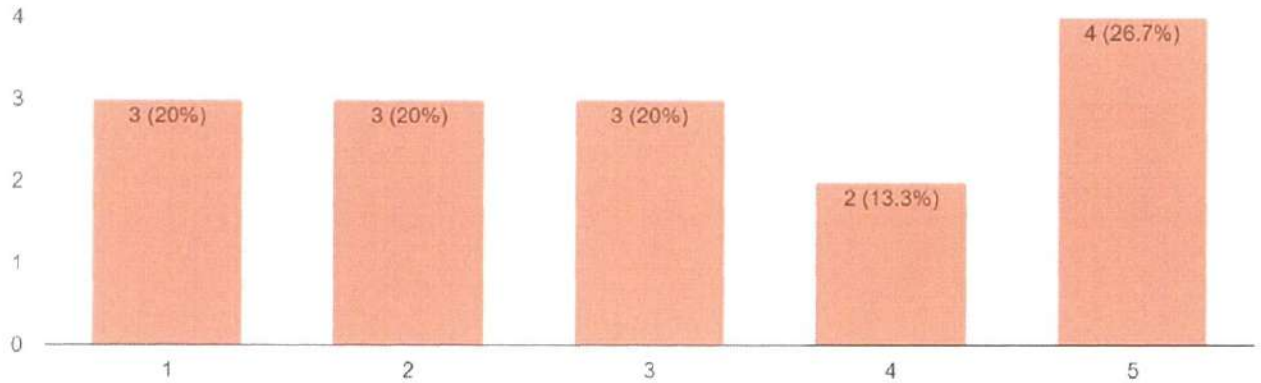


主な意見

- ◇ 何かあればすぐに言ってくれる（3件）
- ◇ 会話の機会など含めあまりなくつながりを感じない（4件）

園と地域のつながりについて

15件の回答



主な意見

- ◇ つながりを感じられなかった (5件)

2. 園自己評価

- 園・各グループの週の振り返りと計画については毎週の職員会で実施。
- 園・各グループの月の振り返りと安全点検と確認は毎月職員会で実施。
- 各グループの年間の保育活動の振り返りを各チームに分かれて実施。
- 園の年間の振り返りについては、園全体で3月に2回実施。
- 園の年間の振り返り時に保護者アンケートについての自己評価も実施。
- 園・各グループコロナ禍対応については、適宜実施。
- 職員の自己評価および個人面接については、年3回実施。

以上についての評価概要は下記の通り。

◇ 職員自己評価より

- 働きやすさが+がみられる。話し合いの時間などから同僚性や信頼感を感じているであろう。
- 互いの保育や活動のフィードバックが進んでいると考えられる。
- 前年度に比べ、検討事項や話し合いが必要なことが多くなり、労働時間は増えているとの実感をもっている。

◇ 保育教育活動について (週・月・年)

- キャンプはお泊り保育に変更。ただし荒天のため4歳児の活動は日帰りとなった。
- コロナ禍の活動が2年間続いたことにより、特に他施設や小学校、また高齢者交流などの交流活動、また園舎内でも乳児と幼児の交流が薄くはなっている。できる活動をできる時期に実施してきたが、「コロナ禍だから」でなく「コロナ禍を機会に見直した」活動としての評価をしていくことが必要。

- 地域活動も考えたが、相手方もあるために難しさはある。園児交流だけでなく、まずは職員から地域につながることをしていくことも必要。
- 特に冬季以降、幼児も学級閉鎖がありマスク着用の保育に踏み切ったが、今後の影響についての評価が必要である。
- 運動会は今年度も3-5歳児のみとした。じっくり年齢に適した活動を行えたので今後も同様の形にしていく。
- クリスマス礼拝はクラスごとに実施。状況を考えれば致し方なかったが職員も保護者も賛否両論であった。
- ◇ 保護者アンケートを受けて
 - 地域活動を除くすべての事柄において、肯定的な意見と否定的な意見の2分化が顕著にみられている。
 - 保護者の帰宅時間帯や担任との関係性が意見の大きな隔たりを生んでいる可能性もある。
 - 保育内容を映像などで提供してきたが、一部過度な要求にもつながる傾向もあるので、まずは保育者の言葉で伝えられることも必要。
 - 特に保護者懇談会や保育参加など、送り迎え以外の保育者とのつながりを作ることが必要。
 - 地域については、高校交流などできたこともある。いかにそのことを伝えていくか。
 - 地域交流は、YMCAとして学童保育やひろばのつながりもあるので、コロナの影響も見ながらではあるが、新たなものを創出できるのではないかと
- ◇ 今後に向けて
 - 「チーム保育」について、単に支えあう、同僚性だけでなく、互いに研鑽の意識を持つことが必要である。
 - 保護者も多様な価値観がみられるので、じっくりと関係を創っていく、つながりを意識したコミュニケーションと保育を見てもらう機会が必要。
 - 自園だけでなく、姉妹園などとの職員交流など、ひろく保育を振り返る機会があるような研修を行っていく。
 - 計画的にだけでなく、特に感染症の状況に応じて、行事・活動・保護者との交流を行っていけるような心づもりが必要。